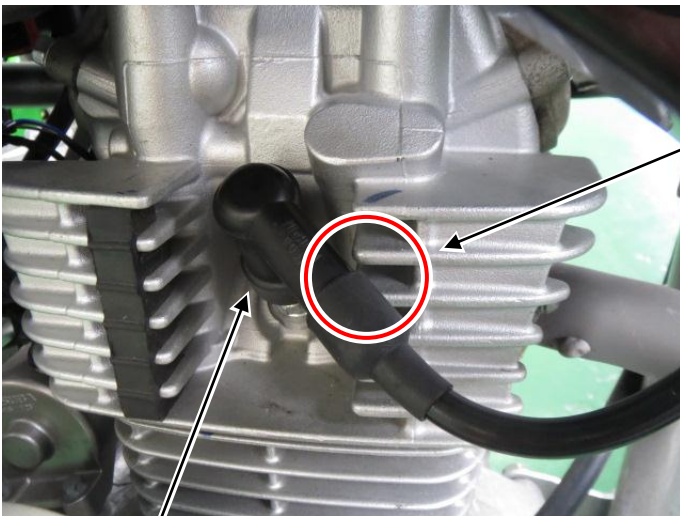


改善箇所説明図



プラグキャップ

不具合発生箇所

プラグキャップの材質が不適切なため、低速走行時などプラグキャップ周辺が高温となる場合で、かつ、プラグキャップ周辺に水分が付着すると、シリンダヘッドに電気がリークする場合があります。そのため、スロットルを開いても点火プラグが失火してエンジンの回転が不安定になり、最悪の場合、エンジンが停止して始動不能となるおそれがある。

改善対策の内容

全車両、プラグキャップを対策品と交換する。

注：□ は、交換部品を示す。

識別：外観で容易に識別できるため、特別な識別は行わない。